



みんなのひろば

思い出



坂田 亀子
(中高一区)

夏の北京オリンピックの女子ソフトボールの試合をテレビで観て、久しぶりに胸がわくわくし感動しました。
ソフトボールでは私も思い出があります。中学の郡の大会が大山町で行われ、決勝戦まで進み、

皆で「絶対に勝とう」と励まし合い、逆転勝ちで優勝しました。その試合の後、グラウンドで見た夕日がとてもきれいで大きくて、皆で感激し、しばらく見とれていました。そして「こんなきれいな夕日が見られる所に住ん

でみたいね」と話したものです。
ずいぶん前の事ですが、今でも職場から美しい夕日を見ると、たまにあの頃の事を思い出し、いい所に住んでいるんだなあと思えるのです。

バレエを通して



中川 伸之
(御来屋南区)

私は、名和バレエポールのスポーツ少年団の団長を勤めています。現在十二人の児童が竹口監督の下、活動しています。日々の練習において子ども達は、バレエの厳しさの中に楽しさを見いだし、また勝つ喜びを経験し、み

んなで励まし合いながら成長しています。その甲斐あって今年度は中国大会にも出場することが出来ました。
保護者の見守る中、子ども達が、監督・コーチの方々の熱い指導の下、たくましくなっていく姿

にいつも頼もしく思っています。また、練習の合間の休憩や終わった後の笑顔が何よりの充実感だと思っています。バレエに興味のある方、これから何かさせたいなど思っている方、是非見学に来てみて下さい。

“本物”



西山 友之
(香取)

私は、香取で100頭もの乳牛を飼い、毎日牛乳を搾っている酪農家です。最近、食品偽装等の問題があり、特に、中国産粉ミルクにメラミン混入という事件には、牛乳を生産している者として、大変ショックを受けまし

た。酪農をする上で、牛乳に何か混ぜるなんて、もってのほか。日本人との意識の違いを感じました。
すべてにおいて、国産の品質レベルは世界一だと思っっています。国産というブランドのすばらし

さをもう一度、日本人が考えなければならぬ良い機会だと思えます。
私も牛乳を通じて「食」という仕事に関わっています。これからも大山というブランドに自信をもつて、「本物」の牛乳を生産していこうと思えます。

あとがき

町の観光商工課では「大山をだいせん」と読ませるプロジェクト」が進行中です。
何を今更と思われる方もあるかもしれませんが、私たちは自然に「だいせん」と読みますが、県外の方にとっては「おおやま」の読み方が自然なんですよ。

近頃、「大山鶏」が全国的にも売れていますが、観光地としては、まだまだ知名度が低い「だいせん」。
いろんな意味で面白い、町の観光ホームページを見ながら、私も旅先や出張先で、「食べ物が美味しい」「自然豊かな」「おおやま」と書いて大山町から来ました」と、プロジェクトに参加しなくちゃと思うこの頃です。

《発行責任者》

議長 鹿島 功

《広報委員会》

- 委員長 西尾 寿博
- 副委員長 遠藤 幸子
- 委員 岡田 聡
- 委員 諸遊 環司
- 委員 吉原美智恵
- 委員 近藤 大介